

「内分泌画像検査・診断マニュアル」正誤表

このたびは『内分泌画像検査・診断マニュアル』をご購入いただきまして誠に有難うございます。本書の一部に誤りがございましたので、以下のように訂正させていただきますとともに謹んでお詫び申し上げます。

2011 年 5 月
診断と治療社 編集部

訂正箇所

p. 28 図 7 先端巨大症重複腺種の症例

キャプション部分

誤	正
造影 T1 強調冠状断. 病理では, 右の下方進展を伴う腫瘍は GH 産生腫瘍の所見であり <u>(矢尻)</u> , 左方の小腫瘍はプロラクチン産生腺腫の所見であった <u>(矢印)</u> .	造影 T1 強調冠状断. 病理では, 右の下方進展を伴う腫瘍は GH 産生腫瘍の所見であり <u>(矢印)</u> , 左方の小腫瘍はプロラクチン産生腺腫の所見であった <u>(矢尻)</u> .